

# 第1学年の生活科における1枚ポートフォリオの授業実践

## II 前書き

1年生にとって学校生活で経験することは、初めてのことが多い。慣れない学校生活の中で不安がいっぱいの子どももたくさんいる。生活科のスタートカリキュラムは、そんな1年生の不安を取り除くように、国語や音楽、図工などの教科とも合科的に進められ、安心して学校生活を送ることができるようになっている。1学期、学校生活にも慣れてきた1年生だが、夏休みになると、長いこと学校生活を離れることになる。学校の自由プールなどで学校に来ることはあっても、基本的に家庭の中で自分の好きなように過ごすことができる。夏休みが終わり、再び学校に戻り、学校のきまりや日課の中で過ごすには、少し足取りが重い子どももいると思われる。そこで、夏休み明けをセカンドスタートとして捉え、リスタートがスムーズにできるように願い、本単元の学習を進めていきたいと考えた。

学校生活の中で教職員とのかかわりは、子どもにとって楽しみである一方、なかなか話しかけることができない子どももいる。この単元で子どもたちは、教職員の仕事について、今までなんとなく知っていたことを意識したり、新しく知ったりすることができる。そして、いろいろなことを教えてくれたり、困ったときに助けてくれたりする教職員に親しみがさらに増し、学校生活がより楽しくて、安心できるものになるのではないかと考えられる。そのために、子どもたちの思いや願いも大切にしながら行った実践である。

## III 実践の内容

### 1 単元名

「もっとしりたいな せんせいのこと」

### 2 単元について

「がっこうたんけん」の単元は、学習指導要領の内容(1)学校と生活を受けて設定した。児童は入学してから、新しい校舎、教室、先生、友だち、学習など新しいことの連続で期待や不安が入り交じった中で、毎日を過ごしている。一学期の「がっこうたんけん」では、そんな児童が安心して楽しく学校生活を送ることができるように、新たな環境である学校の施設について、主に学習を行った。1年生にとっては、学校には理科室、パソコン室、音楽室、校長室など行ってみたいところがたくさんある。1回目は、2年生の案内で学校探検を行い、2回目は自分たちで探検をする。活動したことを「他者との交流」や「認め合う」、「伝え合う」ことを通して「振り返り」、「とらえ直し」をしながら学んだ。

本単元「もっとしりたいな せんせいのこと」では、主に人とかかわり。特に教職員の仕事について調べていく中で今までのかかわりを見つめ直したり、深めたりできるように学習していく。長い夏休みが明け、再び学校に戻って来た1年生である。入学したときにスタートカリキュラムで学校生活に徐々に慣れてきた1年生。長い夏休み明けは、セカンドスタートにあたると考えると、学校生活のリズムを取り戻し、学校には自分を支えてくれる人々がたくさんいることに気づき、安心して楽しく学校生活を送ることができるように学習を進めていく。

また、生活科の学習の中で、行っている表現する活動については、本単元でも、調べたこと

を絵や言葉で表現し伝え合う活動を仕組んでいる。児童の思いを大切にしながら、この単元ではまとめ方や発表の仕方などいろいろなものを紹介していきたい。さらに、教職員にインタビュー活動をする際には、あいさつの仕方、言葉づかいなどの指導も行い、目上の人に対する話し方についても学ぶようにしたい。

そして、三学期には、自分の成長を振り返るとともに、お世話になった上級生や教職員に「ありがとうカード」を書く活動に取り組んでいきたい。

### 3 本部会の研究との関わり

	児 童	教 師
①	単元のはじめとおわりに書く記述を比べ、自分の成長（変容）を感じられるようにする。	単元のはじめとおわりに児童が書く記述を比べ、成長（変容）を見取る。
②	各時間の最後に書く一枚ポートフォリオの記述から、その時間における達成感を味わう。または、次時への改善を確認する。	児童の一枚ポートフォリオの記述にコメントを書き、次時への意欲づけとする。
③	毎時間一枚ポートフォリオへの記述をする中で、学習したこと（学習してできるようになった、分かった、友だちの考えの良さ）を確認する。	毎時間の最後に児童が書く一枚ポートフォリオの記述を基に、その時間における児童の意欲・理解度・気づきを見取る。必要に応じて、児童への支援を行う上での参考資料にする。

### 4 児童の実態

男子11名、女子8名の計19名の学級である。入学して少しずつ学校生活に慣れ、学習や当番活動にも前向きに取り組む児童が多い。そして、休み時間には元気に外遊びを楽しんでいる。クラスの友だち関係が広がる中で、自分の気持ちを伝えることが十分にできないので、教師に訴えてくる場面も見られようになってきた。その都度、お互いの気持ちや行動を振り返り、よりよい方向に進めるようにしている。

生活科に関しては、具体的な活動や体験する学習が多いので、生活科の時間を楽しみにして、意欲的に取り組んでいる児童が多い。1学期に行った「がっこうたんけん」では、サイン集めゲームや名刺交換ゲームに学年で取り組むことで、より多くの友だちとの関わりをもつことができるようになった。また、学校の施設の様子については、2年生に学校案内をしてもらった。それから、自分たちでもう一度行ってみたい場所に行き、見つけたものを絵や文でカードにまとめた。そして、学校開放日にカードを使いながら発表し、保護者にも聞いてもらった。

生活科の授業の中で課題に思っていることは、絵や文で表すことに抵抗のある児童がいることである。1年生の一学期なので、できるだけ具体的な例を示したり、個別に支援したりすることで、自分なりの表し方をしている児童もいる。しかし、どのようにしたらよいのか、手が止まってしまう児童もいるので、国語の時間に出来事や感じたことなどを書く機会を多くしたり、図工の時間に形を考えながら、絵を描くことに取り組んだりしている。本単元を学習するにあたり、自分なりの考えや思いがすなおに表現できる手助けとなるように視覚的に捉えられるような教材を準備したい。

## 5 単元のねらい

### 【生活への関心・意欲・態度】

- ・学校で働いている教職員に関心をもち、適切に接しようとする。

### 【活動や体験についての思考・表現】

- ・学校で働いている教職員との関わりについて、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それを素直に表現することができる。

### 【身近な環境や自分についての気付き】

- ・学校で働いている教職員のことわかり、自分とのかかわりに気づく。

## 6 活動計画（全5時間）

時	主な学習活動	評価規準	評価方法
1	<p>○学校生活を振り返り、教職員について知っていることを出し合う。</p> <p>○学校で働いている教職員たちが、どんな仕事をしているのか話し合う。</p>	<p>関：今までのかかわりを通して思い出したことを伝えようとしている。</p> <p>思：学校で働いている教職員の仕事について考え、その違いに気づくことができる。</p>	<p>発言、一枚ポートフォリオ</p> <p>発言、一枚ポートフォリオ</p>
2	<p>○班の中で調べる教職員（校長先生・教頭先生・養護教諭・司書）の分担を決め、インタビューしたいことを考える。</p> <p>○インタビューの仕方を知る。</p>	<p>思：自分が調べてみたい教職員を決めるとともに、インタビューしてみたいことについて考えることができる。</p>	<p>発言、インタビューカード、一枚ポートフォリオ</p>
3	<p>○自分が調べる教職員にインタビューをする。</p>	<p>関：あいさつやマナーを大切にしようとしている。</p>	<p>行動観察 一枚ポートフォリオ</p>

		思：自分の聞きたいことを伝えることができる。	インタビューカード、一枚ポートフォリオ
4	○インタビューしたことを絵やクイズ、ペープサートなど自分が発表したい方法でまとめる。	思：学校で働いている教職員について、絵などに素直に表現することができる。 気：自分が調べた教職員と自分とのかかわりに気づくことができる。	一枚ポートフォリオ、インタビューカード 一枚ポートフォリオ
5	○自分が調べた教職員について、班や全体の場で発表をする。	思：学校で働いている教職員の様子について振り返り、わかったことなどを友だちに伝えることができる。 気：友だちの発表を聞いて、学校で働いている教職員と自分とのかかわりに気づくことができる。	一枚ポートフォリオ 発言、一枚ポートフォリオ

## 7 本時の学習

(1) 日 時 平成28年 8月31日(水) 5校時 14:00～14:45

(2) 場 所 山梨市立後屋敷小学校 1年1組教室

(3) 本時のねらい

### 【生活への関心・意欲・態度】


○学校で働いている教職員について、今までのかかわりを通して思い出したことを伝えようとしている。

### 【活動や体験についての思考・表現】

○学校で働いている教職員の仕事について考え、その違いに気づくことができる。

(4) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点及び評価
2分	1 一学期にした学校探検のことを振り返る。 ・理科室に行きました。 ・2年生と一緒に探検しました。 ・校長先生が話をしてくれました。	・探検場所や見つけたものを思い出させる。

5分	<p>2 「わたしはだれでしょう」クイズに挑戦する。</p> <p>○第1ヒント「わたしは、水をたくさん使うところにいることがあります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○先生かな。</li> </ul> <p>○第2ヒント「わたしが、1年生に会うときは白い服を着ています。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○先生かな。</li> </ul> <p>○第3ヒント「わたしは、みんなが大好きなものを作っています。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の先生かな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントの映像を使用する。</li> <li>・ヒントが出された後に答えを言わせる。間違えても大丈夫なことを伝える。</li> </ul> 
5分  8分  15分	<p>3 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>がっこうのせんせいたちのしごとについてかんがえよう</p> </div> <p>4 学校の先生たちについて知っていることを一枚ポートフォリオに書く。</p> <p>5 学校の先生たちについて知っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生の○○先生。</li> <li>・図書室の先生は図書室にいます。</li> <li>・保健の先生</li> <li>・校長先生は遊んでくれます。</li> <li>・お兄ちゃんの○○先生。</li> </ul> <p>6 グループ分けされた先生たちの仕事について、班で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健の先生がけがをしたときに手当をしてくれました。</li> <li>・図書室の先生が、本を借りるときにカードを書いてくれました。</li> <li>・○○先生が英語を教えてくださいました。</li> <li>・給食のワゴンを運んでいるのを見ました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で働いている教職員について知っていることを一枚ポートフォリオに書かせる。</li> <li>・一枚ポートフォリオに書いたことを発表させる。</li> </ul> <p>関：学校で働いている教職員について、思い出したことを伝えようとしている。</p> <p>〈発言・一枚ポートフォリオ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長 教頭 教諭 養護教諭 事務職員 栄養職員 司書 用務員に分け、それぞれどんなしごとをしているのか、考えさせる。</li> </ul> <p>思：学校で働いている教職員の仕事を考え、その違いに気づくことができる。</p>

7 グループ分けされた先生たちの仕事について考えたことを発表する。

〈発言・一枚ポートフォリオ〉



10 分

8 本時の学習を振り返る。  
 ・自分がわかったことや友だちのよかった意見などを一枚ポートフォリオに書く。  
 ・自分のがんばりを振り返る。

・自分のがんばったところや友だちのよかったところを見つけられるように学習の振り返りをする。

8 授業記録

①第2時 9月13日

○「インタビューをしたい教職員を決め、聞きたいことを考える」

校長先生，教頭先生，養護教諭，司書にインタビューに行く計画を立てた。子どもの思いを大切にするために，希望をとり決めていった。

そして，仕事についてインタビューする内容をクラスで話し合った。その結果，つぎのような質問があげられた。

「どんな仕事をしていますか。」

「一番楽しい（好きな）仕事は何ですか。」

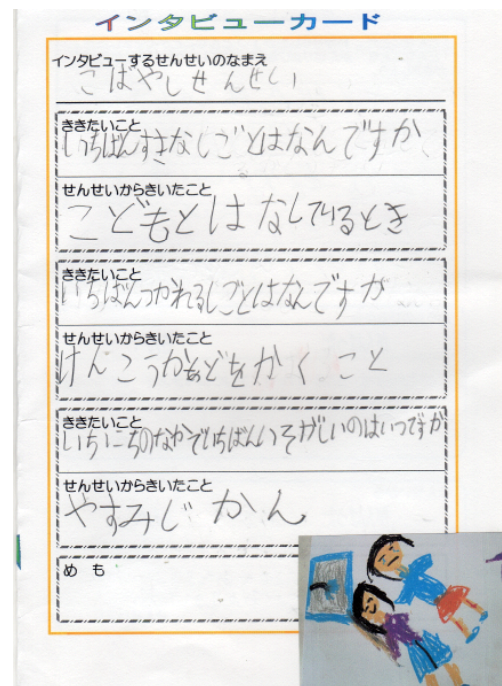
「一番辛い（大変な）仕事は何ですか。」

「一日に何時間働いていますか。」

「一番忙しい時間はいつですか。」 「暇なときは何をしていますか。」

出し合った中から，2つまたは3つの質問をポートフォリオのインタビューカードに記入させた。自分で考えた質問（「一日に何人の子どもが来ますか（保健室）」）を書いている子どももいた。

また，インタビューの仕方やあいさつなどのマナーについても学習した。



②第3時 9月16日

○「インタビューをする」

グループに分かれて、それぞれインタビュー活動を行った。はじめは緊張していた子どもたちだったが、時間が経つにつれて活発に質問し、部屋の中の様子も見せてもらっていた。

○「教室に戻り、インタビューしてきたことをカードに記入する。」

忘れてしまったことは、一緒に聞きに行った友だちに教えてもらったり、休み時間に聞きに行ったりしてカードに書いていた。聞いてきたことを早く言いたくて話し始める子どももいたが、友だちに伝える時間まで待っているように話をした。

③第4時 9月28日

○「インタビューしてきたことを発表する準備をする。」

今まで生活科では、カードに絵や文をかく活動にとりくんでいた。伝え方やまとめ方として、ペープサート・紙芝居・クイズ・本・替え歌の方法があることを提示し、自分がとりくみたいことを決めさせた。方法の一つとして手紙も子どもからの意見として出された。しかし、本、替え歌、手紙にとりくむ子どもはいなかった。

・ペープサートにとりくんだ児童… 4名

インタビューをした教職員の顔と自分の顔を描き、発表することを後ろに書いていた。



・紙芝居（絵）にとりくんだ児童… 4名

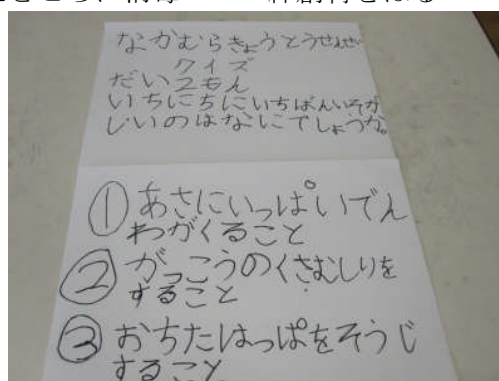
とりくみの時間が短かったため、ストーリー性はなかったのですが紙芝居というより絵で教職員の仕事を表していた。そんな中でも、養護教諭のけがの手当について3枚の紙芝居にまとめることができた子どももいた。



けがをした子どもが保健室に来た→けがをしたところに消毒 → 絆創膏をはる

・クイズにとりくんだ児童…………… 11名

見本が答えを3択から選ぶ形式だったので、同じようにクイズを書いていた。正解以外の選択肢を考えるのが難しかったようだ。書く量が多かったが、根気強くとりくみ、2問目を作る子どももいた。



#### ④第5時 9月29日

「インタビューしたことを友だちに伝えよう」

発表内容が重ならないように生活科とは別の4人組のグループを作った。グループの中に校長先生を調べた子、教頭先生を調べた子、養護教諭を調べた子、司書を調べた子がひとりずつ入るようにした。その後、全体の場で発表を行った。自分から進んで発表したいという子どもが多かった。中には、考えたクイズが友だちと同じだが自分も発表したいと意欲を見せる子どももいた。



## IV まとめ

### 1 成果

- ・1年生なりに学習を振り返って、感じたことを1枚ポートフォリオに書くことができるようになり、子どもの思いを知ることができた。
- ・1枚ポートフォリオで学習前と学習後を比べると、たくさんを知ることができた実感できる子どもが多かった。
- ・子どもが書いたことに励ましや認め言葉の言葉を記入することで、その言葉を楽しみにしている子どもの姿が見られた。
- ・ポートフォリオを書いたり、インタビューカードを書いたり、クイズなどを書いたりするなど書くことが多かった。しかし、意欲が高かったので、自主的にとりこんでいた。
- ・ポートフォリオの記述欄を枠の色によって区別した。赤枠は1時間ごとのまとめ、緑枠は学習前と学習後、ピンク枠は自己評価というように区別することで1年生にとって、書く場所が分かりやすかった。カラーが効果的であることが分かった。

### 2 課題

- ・授業の最後のまとめとして、「単元を振り返って」を記入するよりインタビューした教職員に手紙を書く方が書きやすいと思い、インタビューさせてもらった教職員に手紙を書いた。しかし、多くの子が手紙を書くことに戸惑っていた。
- ・1枚ポートフォリオを作成するときに、単元をよく見通した計画を立てることが大切だと思った。
- ・書けない子どもにとって、友だちの書いたことを聞くことは、とても参考になっていたが、それでも書けない子どもがいる。その子にとって、ポートフォリオが負担にならないようにきめ細かい支援が必要であった。